

令和5年度 環境部組織目標

組織名	環境部	部長	環境部長 木山 浩
組織の目的・方向性	<p>市民、団体、事業者とのパートナーシップのもと、温室効果ガスの排出を大幅に削減し、脱炭素社会を構築するとともに、更なるごみの減量・資源化により循環型社会を推進します。</p> <p>また、自然との共生のもとで、持続的発展が可能な社会を構築し、水辺空間や豊かに広がる田園、里山など、多様で美しい自然環境や良好な生活環境を将来世代に引き継いでいきます。</p>		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*	<ul style="list-style-type: none"> ・市域から排出される温室効果ガスの削減量（平成 25 年度比） ・1 人 1 日当たりごみ総排出量 ・市内の陸域における生物多様性保全に資する地域の割合 ・新潟市の生活環境における大気・水・音などの状況が良好だと思ふ市民の割合 		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

環境部組織目標

環境部では、市域の温室効果ガス排出量を削減する「地球温暖化対策実行計画（地域推進版）」の推進に取り組むとともに、市役所自らの対策を推進します。また、良好な環境の保全、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の優先順位に従い廃棄物の減量と適正処理を進めるとともに、安定かつ効率的な処理体制を構築します。

この方針のもと、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 地域脱炭素をけん引するため、市役所も CO2 を多量に排出する大規模な事業所のひとつとして、公共施設の ZEB 化促進や再エネ導入など、市の事務事業にかかる脱炭素化に率先して取り組みます。
- 2 脱炭素化や3Rの推進など、環境課題の解決に向けて積極的に取り組む活動を支援します。
- 3 廃棄物処理施設の更新・統合により、安定かつ効率的な処理体制を構築します。
- 4 きれいなまちづくりの推進のため、身近な地域の環境美化に取り組む活動を支援します。
- 5 安心・安全な市民生活に影響を与える環境負荷の低減を図るため、計画的な環境調査を継続的に実施し、環境の状況に応じた取組につなげることで良好な生活環境を確保します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	4
取組結果	<p>【重点目標1】達成見込</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標達成見込み（R6年8月ごろ確定予定） <p>【重点目標2】達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業支援事業（再エネ100補助金）は廃止となったが、地域循環共生圏プラットフォーム立ち上げ支援を新たに実施したことから目標を達成しました。（11件） <p>【重点目標3】達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新焼却施設整備事業については、事業者評価委員会を設置し、評価方法及び発注書類をまとめました。 ○ 空き缶処理については、老朽化した市の空き缶処理施設に代わり、効率的で持続可能な資源リサイクル体制に向けて、令和6年度からの全量民間委託化することで、缶処理事業者と合意しました。これに伴い、資源再生センター及び鎧湯クリーンセンターリサイクルプラザを廃止しました。 <p>【重点目標4】未達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍で自粛されていた地域の清掃活動だが、実施を再開する団体が増えてきている。そのため、春の参加人数は増加したが、猛暑の影響があり夏は減少しました。 ○ SNSを活用し、美化活動や制度についてのPRを行い、実施団体の拡大に取り組んだが、目標値に届かなかった。 <p>【重点目標5】達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間計画に基づき、大気、水質及び騒音の環境調査を継続的に実施しました。 ○ また、結果の公表や、発生源に対する監視や指導により、市民の良好な生活環境が保全されるよう努めました。 				
今後の方向性	<p>【重点目標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 温暖化対策実行計画（市役所率先実行版）に基づき、PPA等太陽光発電設備の導入、ZEBの推進、次世代自動車の導入について、全庁を挙げて推進します。 <p>【重点目標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟地域脱炭素社会推進パートナーシップ会議などの官民連携組織等を通じ、民間事業者との連携強化を図り、脱炭素に係るビジネスマッチングを進めます。 <p>【重点目標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新焼却施設整備事業については、事業者評価委員会にてまとめた評価方法及び発注書類に基づいて、総合評価一般競争入札により事業者を決定し、計画的に進めます。 <p>【重点目標4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、ごみの収集をはじめ、活動費用の一部補助などの支援を実施し、環境美化活動を推進します。 ○ また、SNSなどの活用により、美化活動や制度についてのPRを行い、実施団体の拡大に取り組みます。 <p>【重点目標5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計画的な環境調査を継続し、必要な対策につなげることで、良好な生活環境の保全を図ります。 				